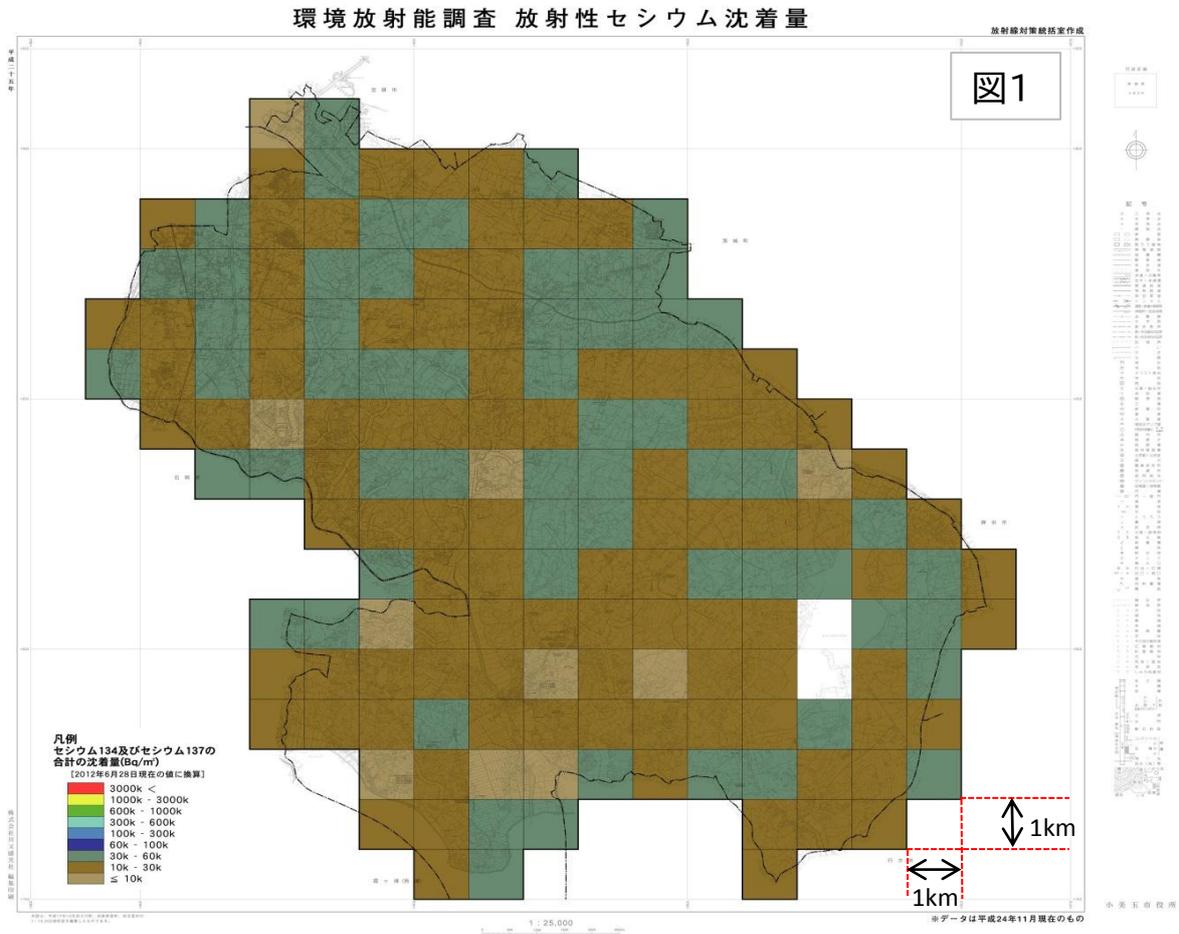


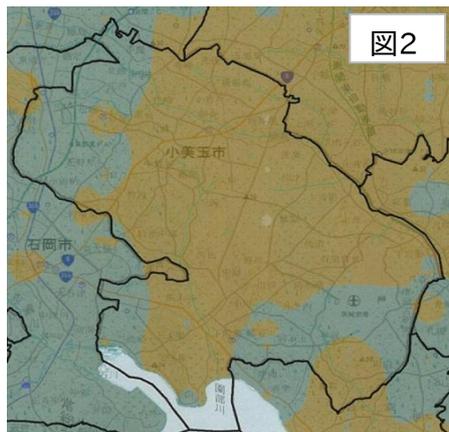
【環境放射能測定事業について】

平成25年3月 放射線対策統括室

放射線対策統括室では、平成24年10月より、市内162箇所において空間線量の測定及び土壌中の放射性セシウム沈着量の測定を行いました。結果は下図のようになっています。
※測定箇所はすべて市有地や公共用地など、個人所有地以外から選定しました。



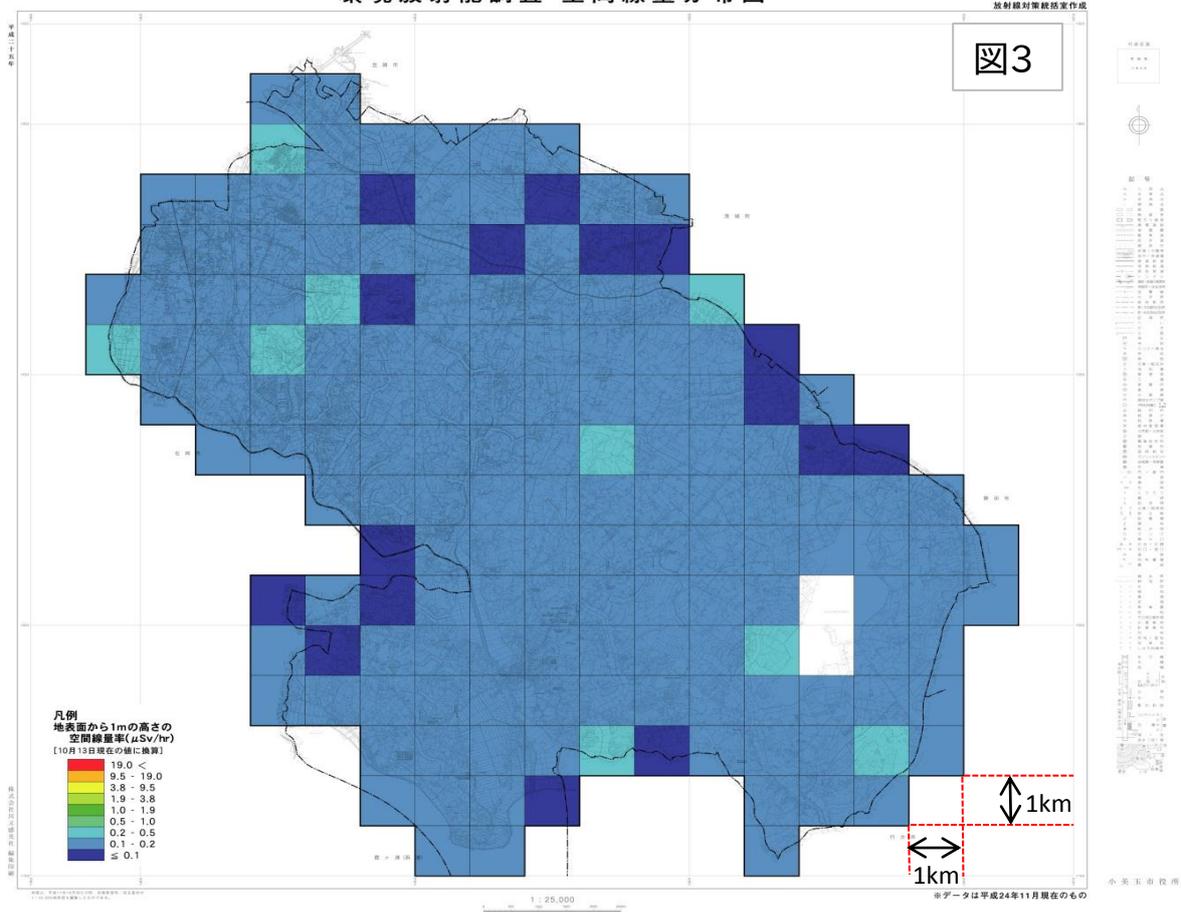
(図1)は土壌中の放射性セシウム沈着量を示したものです。図の凡例を参照すると、市内全域において放射性セシウム沈着量は6万Bq/m²未満であり、平均値は2万2千Bq/m²という結果になっています。



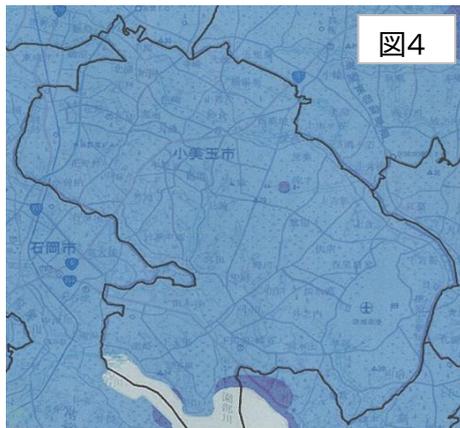
(図2)は文部科学省より公表されている航空機モニタリング調査の結果です。これは航空機を用いて上空から放射性物質の測定を行ったものです。測定方法の違いによって沈着量の分布に違いは出ていますが、数値の分布としては両調査において同様の結果が得られています。
今回の事業におけるデータは、直接土壌を採取・測定しているという点において、文科省のデータを補完する、より具体的な記録であると考えられます。

※データは平成24年6月現在のもの

環境放射能調査 空間線量分布図



(図3) は空間線量の分布を示したものです。図の凡例を参照すると、市内全域において空間線量は $0.5 \mu\text{Sv/h}$ 未満であり、平均値は $0.14 \mu\text{Sv/h}$ という結果になっています。



(図4) は航空機モニタリング調査による空間線量の測定結果です。市内のほぼ全域において空間線量が $0.1 \sim 0.2 \mu\text{Sv/h}$ となっている点について、両調査の結果は共通しています。

今回の事業を通して作成した市内の汚染マップは、今後の放射線量・土壌中の放射性セシウム沈着量を観察していく上での重要な指標となってくると考えられます。

今後もこのような事業を発展させ、市民の皆様に対する更なる安心・安全の提供に努めていきます。

※データは平成24年6月現在のもの

※ご不明な点や市内162箇所の詳細な測定結果等につきましては放射線対策係までお問い合わせ下さい。

防災管理課 放射線対策係
 (小美玉市役所本庁舎 1F)
 内線番号：1012・1014